



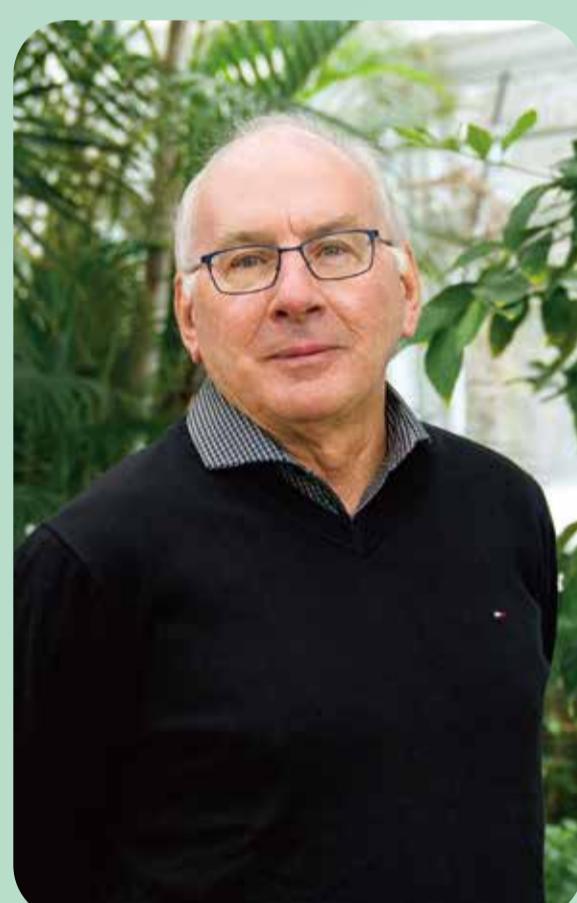
「第6回生物多様性みどり賞」 受賞者が決定しました。

本賞は、公益財団法人イオン環境財団と国際連合環境計画 生物多様性条約事務局が
生物多様性の保全と持続可能な利用に関して、顕著な功績のある個人を顕彰する国際賞です。

今回は140名の候補者の中から3名が受賞しました。

今後も、生物多様性条約事務局や受賞者の方々との連携を図り、積極的に環境活動を推進していきます。

詳細はこちらよりご覧いただけます。



ポール・エベル氏 (カナダ)

カナダ ゲルフ大学
統合生物学部教授

DNA情報に基づき、あらゆる生命体を適切な生物種に識別する1千万件以上の「DNAバーコード」の開発に取り組み、生物多様性をより身近なものとしました。



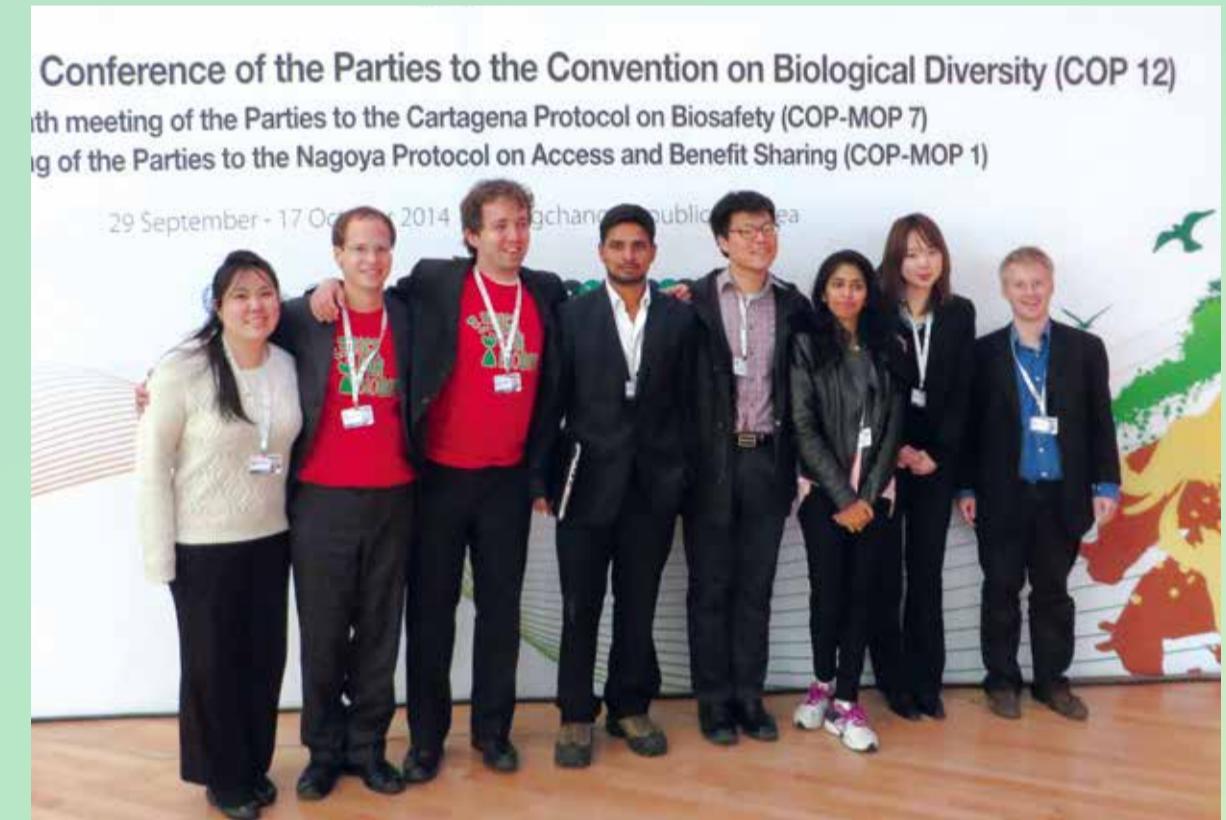
DNAバーコード化する標本の選定 (生物多様性ゲノミクスセンター)



メリーナ・サキヤマ氏 (ブラジル)

「生物多様性グローバルユースネットワーク(GYBN)」
共同創設者

自然と共生する未来を創るために、若者とその組織のエンパワーメントを目的とした国際的な連合を構築し、様々な問題解決に向け国境を越えた活動を展開しています。



生物多様性グローバルユースネットワーク代表派遣団(COP12にて)



ウィルシーエマニュエル・ビニュイ氏

(カメルーン)

環境活動団体

「カメルーン ジェンダー環境ウォッチ」創設者

「地球規模で考え、地域で行動しよう」を体現するため、地域社会を巻き込んで種子や苗の収集、苗床開発、森林パトロールの組織化を図り、森林の保全と再生に取り組んでいます。



ムロイン・ヤン地域における先住民族コミュニティの森林教育